

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 10環境衛生費

◎環境衛生一般の経費

鳥獣保護管理対策事業

【 環境保全課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり: 豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 野生鳥獣の適正な保護及び管理のため。

効果 傷病野生鳥獣の治療のための捕獲を行うとともに、有害鳥獣による被害発生予防、被害原因除去と再発防止に努める。

【事業の内容】

(1) 鳥獣保護管理対策事業

- ・ 野生鳥獣の保護等に関する啓発を行うとともに、傷病等野生鳥獣を捕獲、または捕獲されたものの県指定収容施設への収容を行った。
- ・ アライグマ、ハクビシン、タイワンリスなどいわゆる外来動物による生態系、生活環境等の被害の防止に係る説明・指導を行った。
- ・ 外来動物に係る被害の実地調査、捕獲の許可を行った。また、捕獲個体の処分業務を委託した。

【事業費】

(単位: 千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,908	5,908	5,732		176
主な支出内訳				
・ 鳥獣保護管理対策事業				
非常勤嘱託員報酬 1人				1,739
鳥獣保護協力等謝礼				0
非常勤嘱託員費用弁償				39
現場作業等消耗品費				137
有害鳥獣駆除等業務委託料				3,817
主な特定財源				
・ 国県支出金				1,900

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 環境-16 鳥獣保護管理対策事業 □支援部門								
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	1347鳥獣保護管理対策事業							
主管課 分野名	環境保全推進課(環境保全課)		関連課						
目標 (目標値)	野生鳥獣の保護及び適正な管理								
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考				
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日				
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯					
運営資源 状 況	決算値	5,732千円	4,879千円	6,004千円					
	(国・県)	1,900千円	1,550千円	2,100千円					
	(負担金等)								
	(一般財源)	3,832千円	3,329千円	3,904千円					
	人員配置数	2.0人	2.0人	2.0人					
	人 件 費	17,837千円	18,102千円	18,724千円					
協 働 の パ ー ト ナ ー	鳥獣保護協力員 鎌倉自主探鳥会	鳥獣保護協力員 鎌倉自主探鳥会	鳥獣保護協力員 鎌倉自主探鳥会						
事務事業 運営経費	総事業費	23,569千円	22,981円	24,728千円					
	市民1人当 りの経費	134円	131円	141円					
	対象者1人 当りの経費								
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価									
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※				
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)			
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(27年度)		
アライグマ捕獲数	◎	目標値	80	190	200	200	200		
		実績値	170	190					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
タイワンリス捕獲数	/	目標値							
		実績値	194	363					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
ハクビシン捕獲数	/	目標値							
		実績値	81	89					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
		目標値							
		実績値							
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)									
団体名	鎌倉市	横須賀市	逗子市	三浦市	葉山町	藤沢市	茅ヶ崎市	横浜市	相模原市
19年度アライグマ捕獲数	170	440	59	71	82	15	44	201	35
20年度アライグマ捕獲数	190	372	80	58	149	21	44	177	37
前年度比	111.8%	84.5%	135.6%	81.7%	181.7%	140.0%	100.0%	88.1%	105.7%
19年度タイワンリス捕獲数	193	270	62	13	405				
20年度タイワンリス捕獲数	363	678	108	14	889				
前年度比	188.1%	251.1%	174.2%	107.7%	219.5%				

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ①有害外来生物に対しては県の調整のもと情報の共有化や生息数の把握など、より広域的かつ総合的な対策をとる必要がある。 ②台湾リスについては、本市単独の防除実施計画を策定する必要がある。 ③野生動物への餌付け行為の抑止を図る必要がある。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ①広域的な対応のため、県内市町村の連携に向けた調整をするように神奈川県に働きかけた。 ②鎌倉市クリハラリス(台湾リス)防除実施計画を策定し、平成21年3月24日に環境省の適合確認を受けた。(施行は平成21年4月1日) ③野生動物への餌付け行為の抑止、被害防止に向けた啓発チラシ・ポスターを作成し、腰越地域の自治・町内会に配布・掲示した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ①捕獲目標の目安となる生息数の把握等、計画的な対策を進めるための広域的な対応 ③野生動物への餌付け行為の抑止の徹底
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ①鎌倉市クリハラリス(台湾リス)防除実施計画が施行されたことから、アライグマ、台湾リスについては、より積極的に市民、関係団体に捕獲協力を呼びかけるとともに、広域的な対応が必要な事項については県に調整を要請していく。 ③野生動物への餌付け行為の抑止に向けた啓発を継続していく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	アライグマ、台湾リスの防除について、県及び近隣市町と連携して広域的な対応を図るとともに、野生動物への餌付け行為の抑止については、鎌倉地域、腰越地域に続き大船地域・深沢地域の自治・町内会に協力を求め、啓発活動を広げていく。				
担当課長氏名:	環境保全課長 比連崎 勝				

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	有害外来生物の防除については県及び近隣市町と連携を取りながら積極的に行っていきます。また、野生動物への餌付け行為の抑止の啓発を推進していきます。				
担当部名	環境部	部長名	勝山 洋		